

又天を摩す所謂ますらをの文章とは正に此くの如きをいふのであらう。

或人は私を難じていつた。「孔子と孟子は人格上比較にならぬ、孟子を論語に配するのは、類を失してゐよう」と。私はこれに答へていつた。「孔子によつて提唱されたヒューマニズムの精神は孟子によつて遺憾なく昂揚された。孟子は確かに孔子以後の一人である。孟子は政治といふものが、君主のためでなく、人民のためになされねばならぬことを絶叫し、又単なる王侯の慾望のために無辜の生靈が失はれる戦争には真正面から反対した。これがために権謀術数を事とし、國際の平和を攪乱する蘇秦張儀の徒をも極度に憎んだ。思想家に対しては功利主義の楊朱を排し、原始共產主義の許行を斥け、血のつながらりを無視した似而非なる人道主義の墨翟をも伐つた。そのたぎる熱血と懸河の弁は、これあるがために、一世を鼓動し、又よく孔子の道を顕揚し得たのである。孟子は孔子の忠臣であり、其の書を論語に配することは決して類を失したものでない」と。

さて前にも述べた通り論語孟子は多くの人によまれて来ただけにいろ／＼な見方や解釈がある。それに解題にも述べた様に異本も非常に多い。是に於て私はテキストの校勘が何よりも正しい解釈への第一歩であると信ずる。よめない所があつても、古典の文字を恣意にかへるのは絶対に避けねばならない。本書は出来るだけこの点に注意したつもりである。そして頭注には所謂字句の解釈はあまりせず、簡単に事項を説明するに止めた。これは一偏的な解釈を教授者に推しつけてはならないと思つたからである。しかし今日の新しい研究から見てもあまり不適當な旧説は改めざるを得ないものもあつて、これは出来るだけ訓詁によつて明にしたが、それで足りないと思つた所は特に注記した。もとより淺学の身、不備の点は大方の御叱正を御願ひせねばならぬと思つてゐる。

昭和二十八年一月

編者 識

論語目次

學而第一	三	先進第十一	四
爲政第二	四	顏淵第十二	七
八佾第三	六	子路第十三	〇
里仁第四	八	憲問第十四	三
公冶長第五	一〇	衛靈公第十五	五
雍也第六	一三	季氏第十六	九
述而第七	一五	陽貨第十七	二
泰伯第八	一七	微子第十八	六
子罕第九	一八	子張第十九	七
鄉黨第十	二〇	堯曰第二十	一〇

孟子 目次

梁惠王章句上	壹	告子章句上	二
梁惠王章句下	壹	告子章句下	二
公孫丑章句上	七	盡心章句上	三
公孫丑章句下	七	盡心章句下	三
滕文公章句上	七	論孟解八題	三
滕文公章句下	七	齊靈公策十五	三
離婁章句上	九	齊問策十四	三
離婁章句下	九	千濮策十三	三
萬章章句上	九	賈島策十二	三
萬章章句下	九	狄武策十一	三

論語

學而第一

○子曰、學而時習之、不亦說乎。有朋自遠方來、不亦樂乎。人不知而不愠、不亦君子乎。

○有子曰、其爲人也孝弟、而好犯上者、鮮矣。不好犯上、而好作亂者、未之有也。君子務本、本立而道生。孝弟也者、其爲仁之本與。

○子曰、巧言令色、鮮矣仁。

○曾子曰、吾日三省吾身。爲人謀而不忠乎。與朋友交而不信乎。傳不習乎。

○子曰、弟子入則孝、出則弟、謹而信、汎愛衆、而親仁、行有餘力、則以學文。

○孔子、先生といふ程の意、いふのは内輪のことば。  
○説、集解本に悦に作る。  
○有朋、經典積文に「有或は友に作る、非なり」とある。  
○有子、姓は有、名は若、魯の人、孔子の弟子、史記に孔子より少きこと十三歳とある。言行容貌類る孔子に似てゐたといふ。  
○爲仁、卷子本、正平本に「有」の字がない。  
○鮮矣仁、皇侃本に仁の上には「有」の字がある。  
○曾子、孔子の弟子、魯の人、名は参、字は子輿、孝を以て聞えた。孔子より少きこと四十六。  
○交而、卷子本、正平本、交の下に「言」の字がある。  
○弟、集解本に弟に作る。  
○親仁、仁者に親近する意。

○易色、漢書李尋云に賢賢易色とあり、顔師古の註に「女色を輕略にして、貴ばざるなり」とある。色、力、字は韻、身と信とも亦韻。

○子夏、孔子の弟子、衛人、姓はト、名は商、子夏はその字。孔子より少きこと四十四歳、尤も文学に秀でてゐた。後に魏の文侯の師となつた。

○學則不固、朱子は、學も則ち固からず」と訓む。今改めた。

○子禽、姓は陳、名は亢、陳の人。本姓は原なりともいふ。

○子貢、姓は端木、名は賜、字は子貢、魯の公子、孔子の弟子、孔子より少きこと三十一歳、弁舌にすぐれてゐた。  
○其諸、清の黃家岱は云ふ、「其諸は齊の方言である」と。公羊伝桓公六年、閔公元年などに見える。  
○貧而樂、皇侃本に樂の下に「道」の字がある。  
○詩云、詩は詩經衛風淇澳篇。

○子曰、君子不重、則不威、學則不固。主忠信、無友不如己者、過則勿憚改。

○子禽問於子貢曰、夫子至於是邦也、必聞其政、求之與、抑與之與、子貢曰、夫子溫良恭儉讓以得之。夫子之求之也、其諸異乎人之求之與。

○子曰、父在觀其志、父沒觀其行、三年無改於父之道、可謂孝矣。

○子曰、君子食無求飽、居無求安、敏於事而慎於言、就有道而正焉、可謂好學也已。

○子貢曰、貧而無諂、富而無驕、何如。子曰、可也、未若貧而樂、富而好禮者也。子貢曰、詩云、如切如磋、如琢如磨、其斯之謂與。子曰、

好禮者也。子貢曰、詩云、如切如磋、如琢如磨、其斯之謂與。子曰、

好禮者也。子貢曰、詩云、如切如磋、如琢如磨、其斯之謂與。子曰、

好禮者也。子貢曰、詩云、如切如磋、如琢如磨、其斯之謂與。子曰、